

小児歯科学

講 師	有 田 光太郎	実施時期 単 位 数	第 2 学年後期 1 単位 （20 時間）	実務経験	○
一般目標（GIO）	歯科衛生業務を行うために必要な小児の身体的・心理的特徴と小児の歯科治療を理解する。				
授 業 概 要	小児歯科学の基本（小児期の生理、心身の発育の基本パターン、顎顔面領域の発育様相、小児期特有な口腔領域の疾患など）の理解を深めること。 小児の特性を十分に理解して小児歯科診療の補助ができるようになる。				
学 習 方 法	講義				
成績評価の方法	定期試験80%、レポート、出席状況20%による総合評価				
教 科 書	全国歯科衛生士教育協議会（監） 歯科衛生学シリーズ「小児歯科学」 医歯薬出版				
履修上の注意	講義を通じて歯科衛生士としてだけでなく、将来の母親として子どもの健全な発育支援ができるようになる。				
参 考 書	山下 浩 編集 「小児歯科学」 医歯薬出版 長坂信夫 編集 「臨床小児歯科学」 南山堂				
教員の職務経験 （科目との関連性）	小児歯科臨床経験を活かし、分かり易く説明をする。				

授業計画

No.	授業項目	到達目標（SBOs）
1	小児歯科学の目的 小児の生理と小児の心身の発育	小児歯科の変化や意義を説明できる。 小児の正常な身体的成長発育とその障害を説明できる。
2	顎顔面領域の発育 歯列・咬合の発育と異常	顎顔面頭蓋の発育の特徴及び評価法を説明できる。 歯列・咬合の正常発育とその障害を説明できる。
3	乳歯・幼若永久歯の特徴 乳歯と幼若永久歯う蝕の特徴	乳歯と幼若永久歯の解剖学的特徴を説明できる。 小児う蝕の特徴、う蝕予防及び進行抑制法を説明できる。
4	小児の歯科疾患	小児の口腔内の異常や疾患を説明できる。
5	子どもへの対応法	小児歯科と成人歯科との対応法の違いについて説明できる。
6	乳歯・幼若永久歯のう蝕治療法の特徴 乳歯・幼若永久歯の歯内療法について	乳歯・幼若永久歯の歯冠修復法を説明できる。 乳歯・幼若永久歯の歯内療法を説明できる。
7	小児の外傷の処置 咬合誘導	小児の歯の外傷の種類と処置法を説明できる。 咬合誘導の概念ならびに保隙装置の種類、適応症及び留意点を説明できる。
8	定期診査について	定期検査の意義や検査項目を説明できる。
9	口腔機能の発達と育成	口腔機能の発達の評価項目や訓練を説明できる。
10	障害のある子どもの生活支援	障害児の特徴と歯科治療を行う上での問題点を説明できる。